

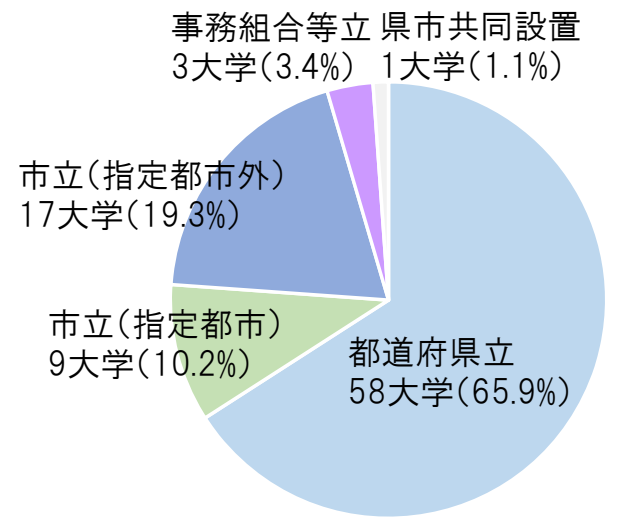
公立大学振興の必要性

地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議 平成29年2月16日(木)
一般社団法人 公立大学協会

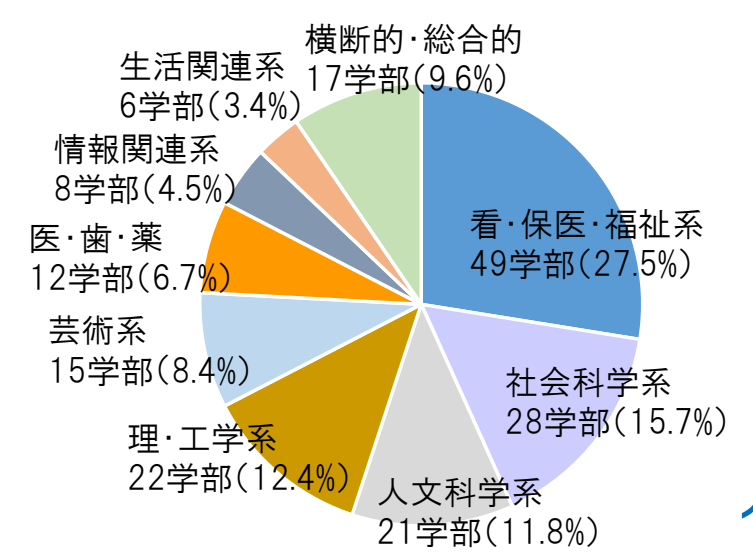
88の公立大学には地方を中心に約15万人の学生が在籍

- 公立大学は、設置自治体により地域活性化のための学部等を設置
- 設置自治体・地元市町村との連携で、地域の実情に応じた取組みを推進
- 国からの適切な支援により、特色ある地方創生の展開が可能に

■ 設置自治体の種別



■ 系統別学部数



地方創生においては公立大学の存在が極めて大きい 特色ある学部が設置自治体や地元市町村と連携

地域の医療の最後の砦

国立大医学部のない県に医学部を設置

福島県立医科大学
横浜市立大学 医学部
奈良県立医科大学
和歌山県立医科大学
ほか4医学部



地域の産業振興を支える 理工系学部

富山県立大学 医薬品工学科(平成29年4月開設)
公立はこだて未来大学 システム情報科学部
会津大学 コンピュータ理工学部
高知工科大学
ほか



地域の文化・伝統の発展に尽力する

芸術系大学・学部

金沢美術工芸大学
愛知県立芸術大学
京都市立芸術大学
沖縄県立芸術大学
尾道市立大学 芸術文化学部
広島市立大学 芸術学部
ほか



地域の医療系人材を供給する 保健医療系学部

高知県立大学 看護学部
大分県立看護科学大学
沖縄県立看護大学
ほか46大学・学部



地域活性化のための学部等を設置

地方創生そのものを教育・研究



高崎経済大学
地域政策学部



北九州市立大学 地域創生学群



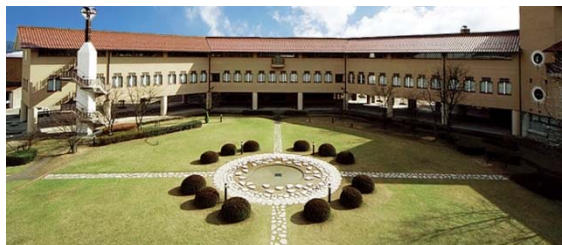
奈良県立大学
地域創造学部



青森公立大学
地域みらい学科



長崎県立大学
地域創造学部



島根県立大学 総合政策学部



京都府立大学
公共政策学部



岩手県立大学
総合政策学部

地方創生を担う学生の取組み

復興支援、地域創生、地域防災に取り組む公立大学生の連携



ワークショップには全国から120名の学生らが参加

全国公立大学学生大会(LINK topos 2016)
2016.10.10@北九州市立大学

写真

左 ワークショップ(まなびとESDステーション)

右 来賓の樋口文部科学大臣政務官

下 公立大学学長会議での発表



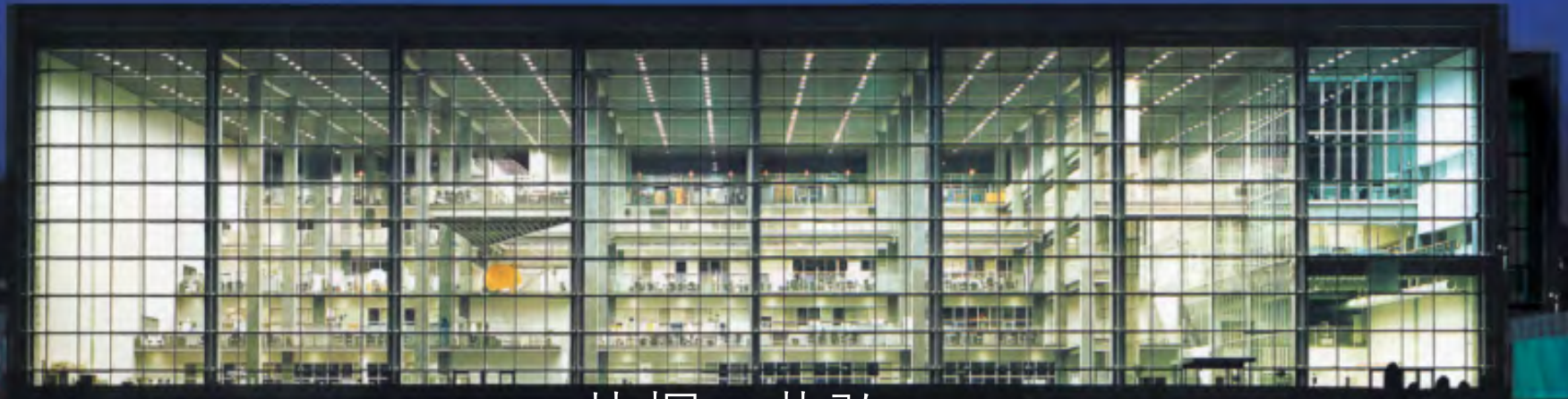
公立大学 学生ネットワーク

岩手県立大学を拠点に、
東日本大震災の復興支援
活動を展開した全国の公立
大学生たちにより結成。

毎年秋、全国公立大学学
生大会を開催し、復興支援、
地域創生、地域防災等を
テーマに連携・交流を続け
ている。

地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議
平成29年2月16日(木)

公立はこだて未来大学の取組み ～地域に根ざしたプロジェクト型教育・研究～



片桐 恭弘

公立はこだて未来大学 理事長・学長



公立はこだて未来大学
FUTURE UNIVERSITY HAKODATE

公立はこだて未来大学

- 2000年開学
 - 2008年法人化
- 公立大学
 - 函館圏広域連合
- 小規模
 - 学生: 1,100
 - 教員: 68
- 情報系単科
 - 単科としては充実
 - 多様な教員(デザイン, AI)



特色ある建築 - Open Space, Open Mind



プロジェクト学習

- **プロジェクト型学習(PBL)の先駆け**
 - 課題解決を通じて専門知識習得
- **1つのテーマを1年間かけて（大学3年時必修）**
 - 1グループは10名程度の学生と数名の教員で構成
- **学生の主体的運営: 問題の提起から解決まで**
 - 問題の枠組みだけを共有，具体的内容は自ら考える
 - 知識を実際に使う力を獲得
- **地域社会・他大学・企業と連携**
 - プロジェクトの管理・運営を学習
- **教員も全員参加**

プロジェクト学習の流れ

テーマ説明会

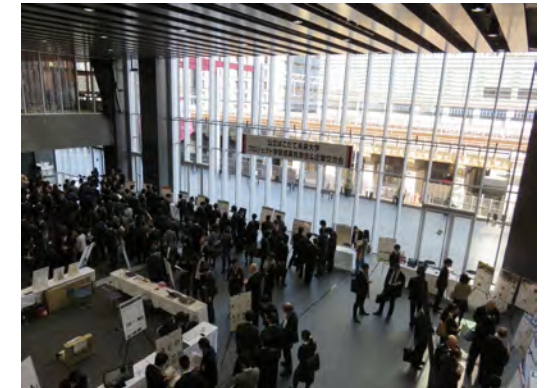
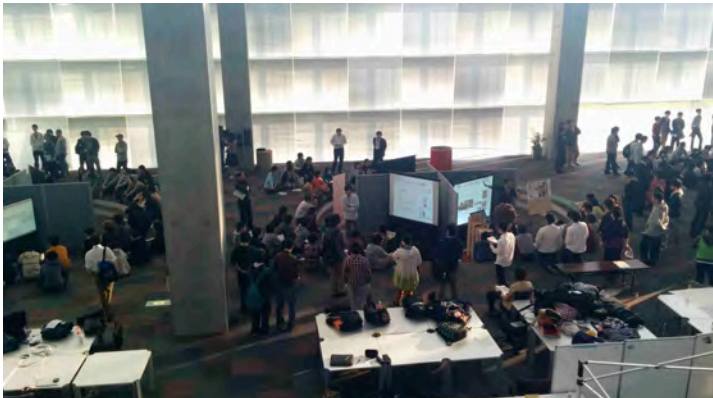
実施

成果発表会

- 教員から学生へ
- 学生・教員全員参加
- Competitive

週2コマ x 2回

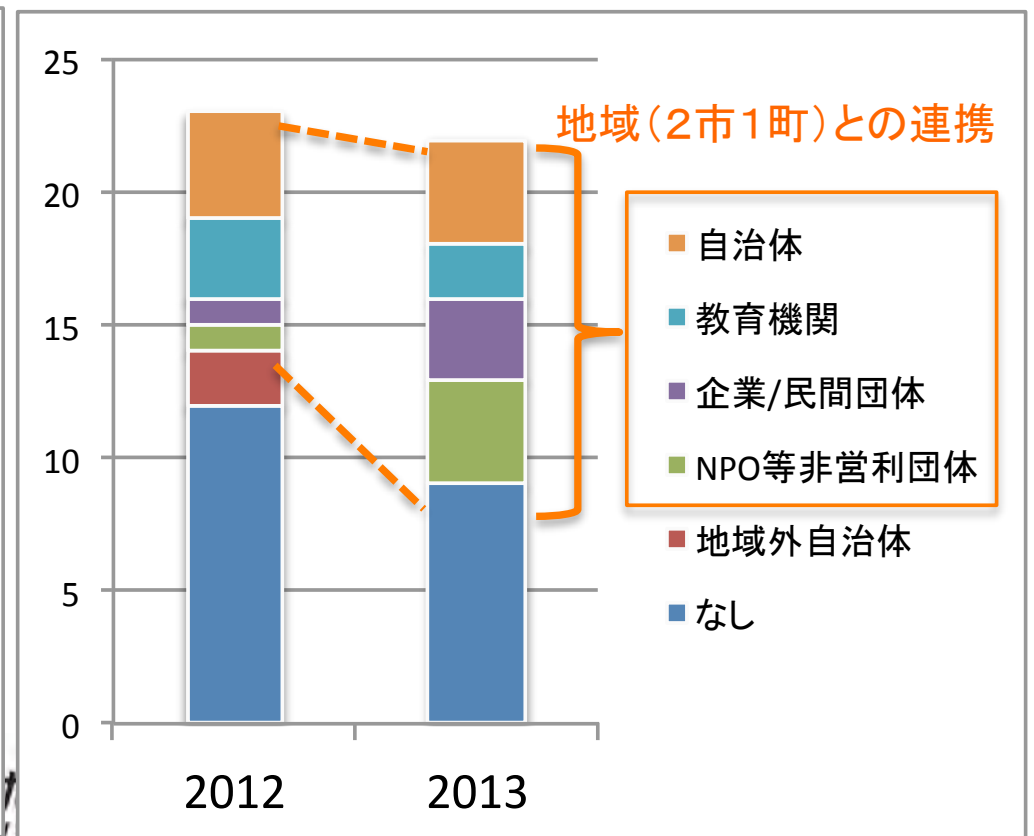
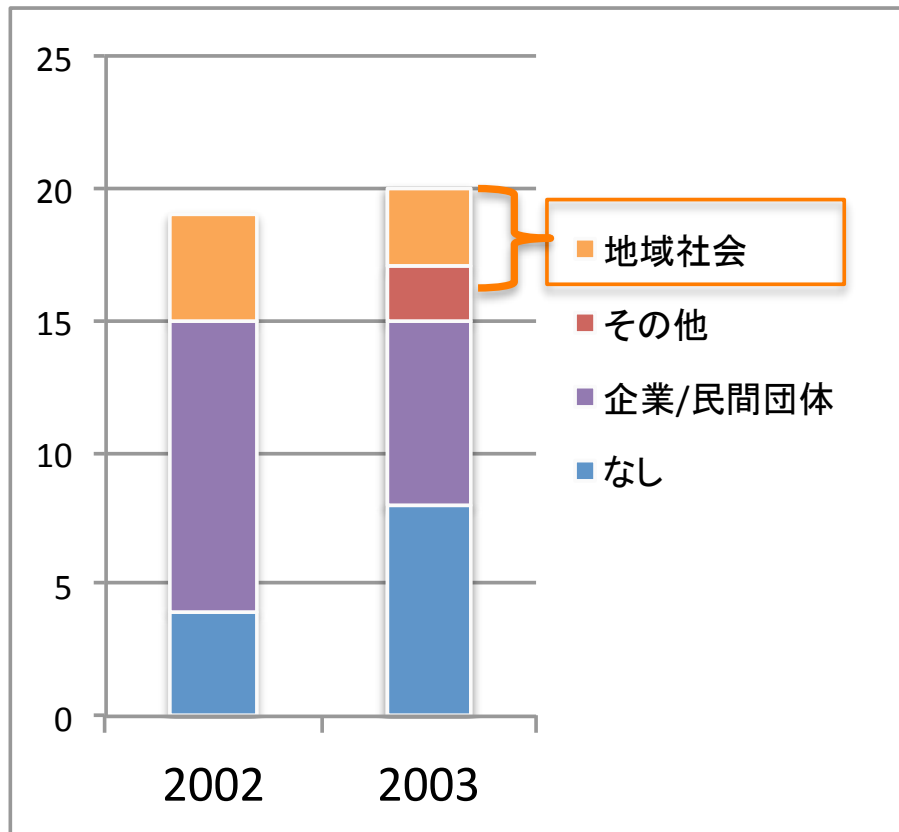
- 学内 / 学外(秋葉原)
- 学生発表
- 市民/企業/高校/外国
- 秋葉原250社参加



祝祭性 → 参加動機付け

地域・企業・他大学と連携

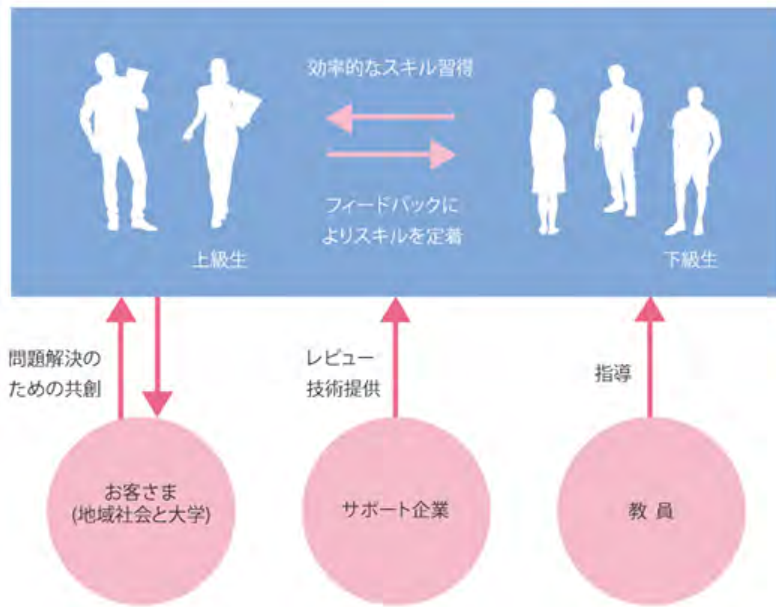
- 実社会の問題の中からのテーマ
 - 社会的文脈のなかでの学習
 - 複数年度にわたる連携



発展

- 大学院レベル
- 企業連携の拡大

大学院高度ICT演習

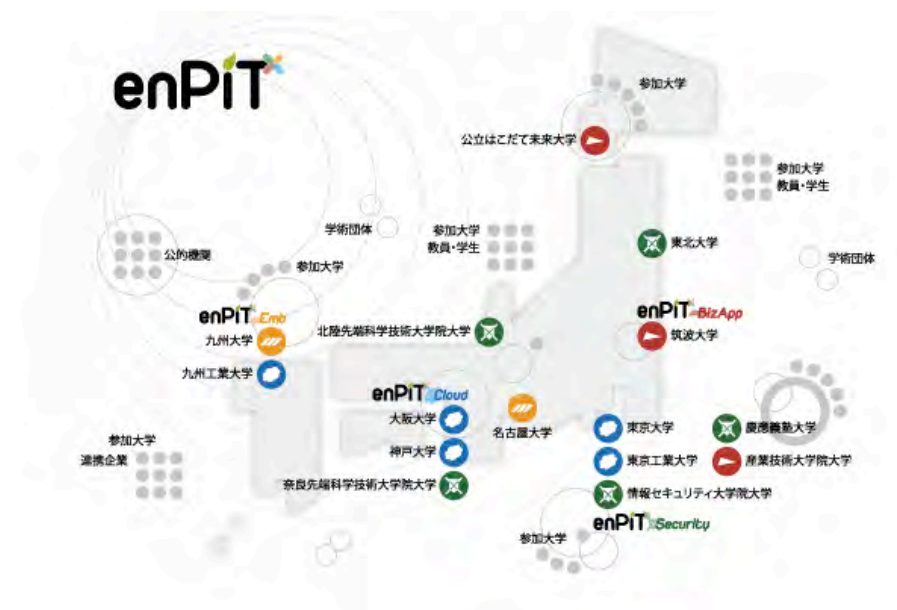


- 大学間ネットワーク

enPIT BizApp X 公立はこだて未来大学 FUTURE UNIVERSITY HAKODATE

先端技術を有機的に活用した実践的問題解決

enPITビジネス・アプリケーション分野は、進化を続ける先端情報技術や情報インフラを有機的に活用し産業界が求める実践的問題解決能力を有する人材を育成するプログラムです。公立はこだて未来大学はenPITビジネスアプリケーション分野の連携大学として参加いたします。



プロジェクト学習の効用

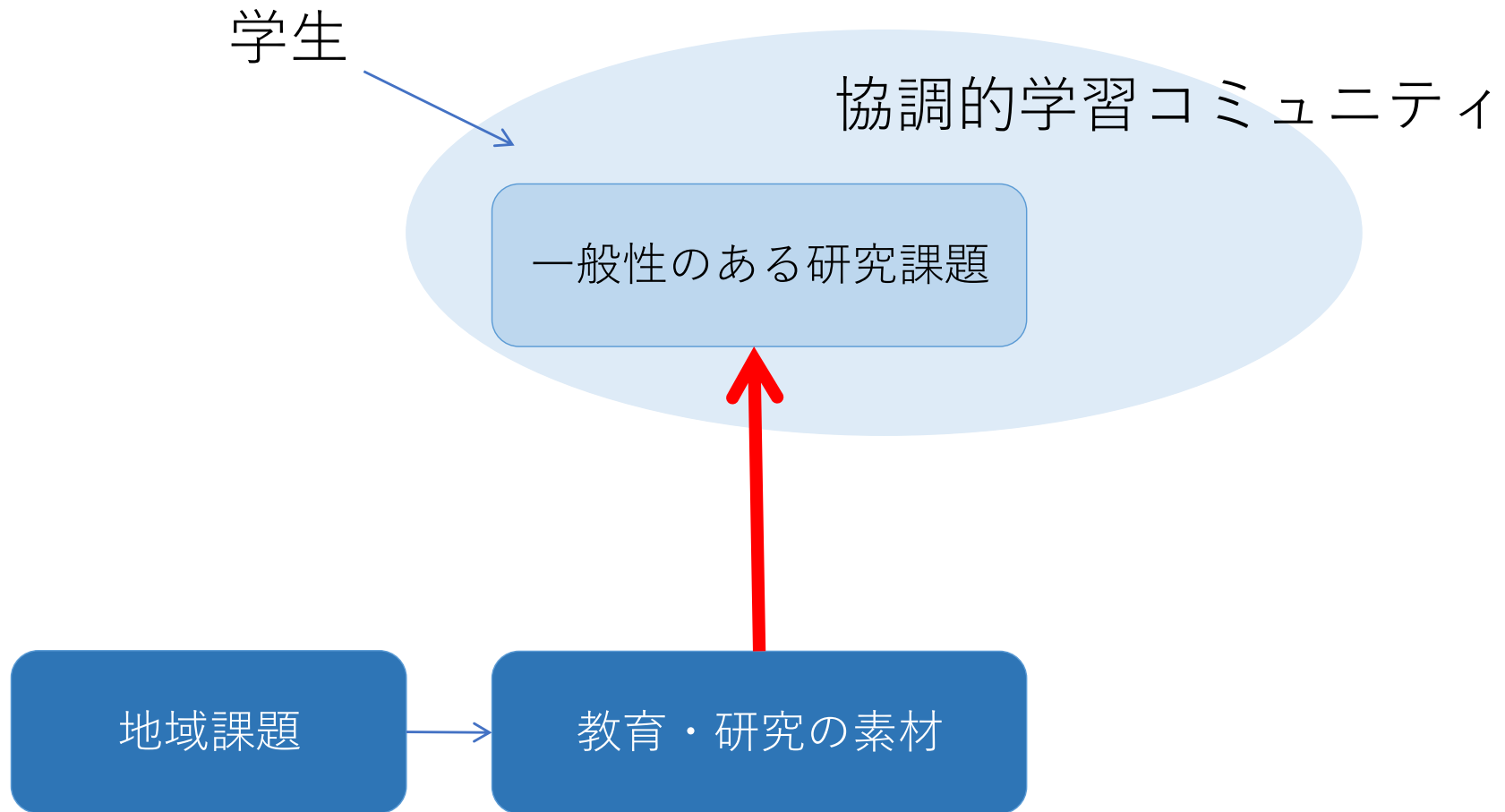
• 学生

- Employability向上
 - 自発的に学ぶ姿勢
 - 地域・現場に対する興味・知識・経験
 - グループ活動を通じた協力体験
 - 外部との接触・交渉によるコミュニケーション力
 - 自発的活動の成果発表によるプレゼンテーション力
- チャレンジ意欲
 - IPA未踏事業やハッカソン

• 教員

- Collaboration文化醸成
 - プロジェクトを発端とした共同研究
 - 地域課題に研究テーマを求めるmentality

地域社会に根ざした教育・研究



MIT学長「ミッションは地域貢献」(広中先生)
消滅可能性都市函館で成功すれば日本中どこでも有効

Marine IT @ FUN

- 水産業
 - 北海道/函館の主要産業
 - 気候・環境変動，濫獲による資源減少
 - ICT導入の遅れ
- 課題
 - 漁場のデータ収集 (sensor network)
 - 漁場情報の可視化
 - 漁業操業の改善/最適化 (AI)
 - 持続可能な漁業



なまこ資源管理



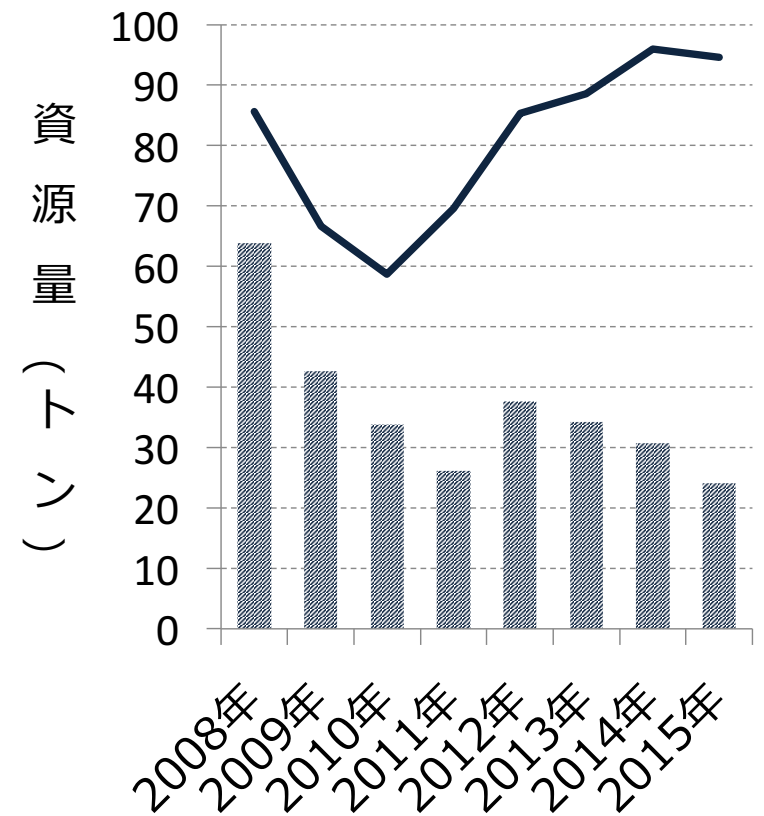
北海道産のなまこ



北海道産のなまこ



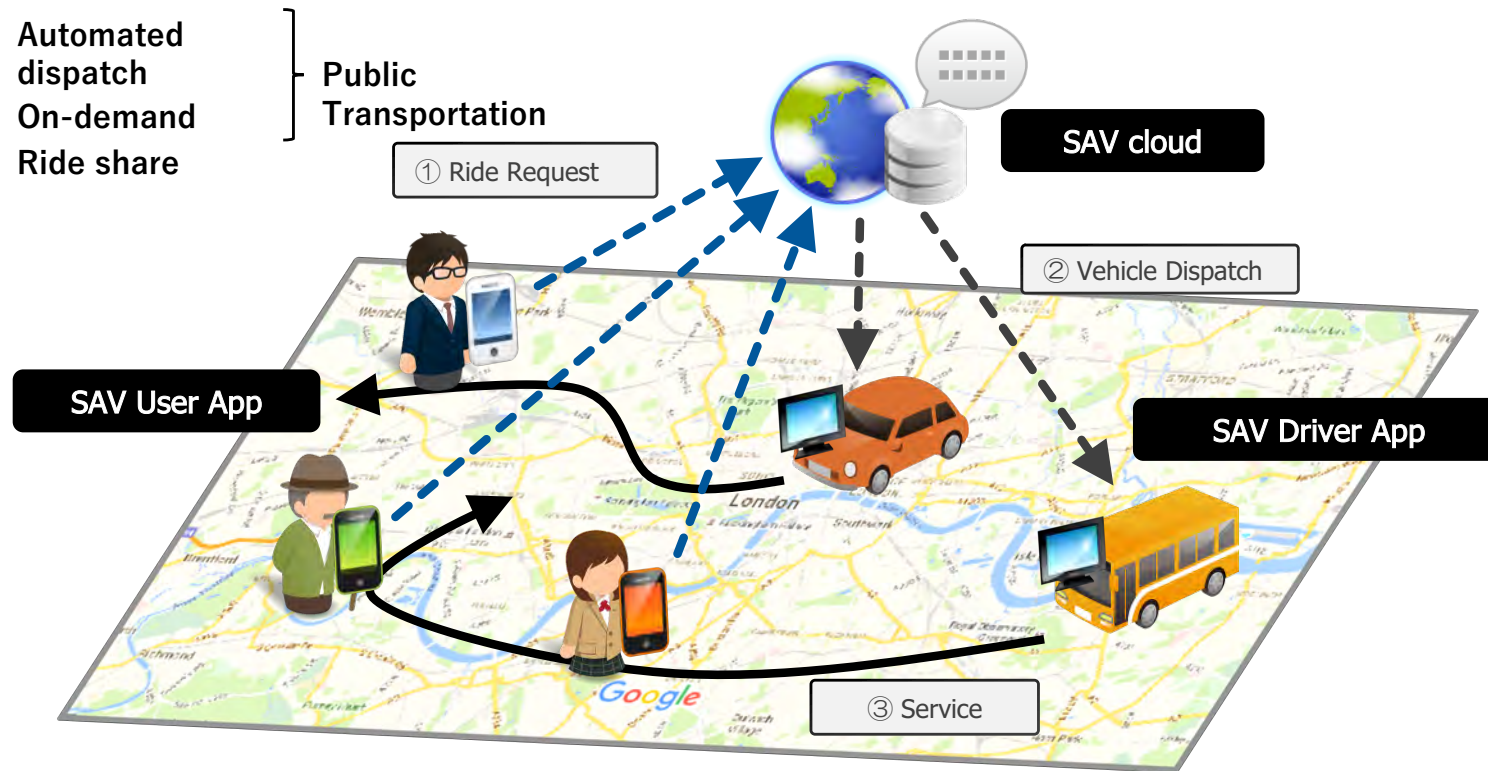
- 操業日誌に基づく資源量推定
- 漁業者の自発的操業制限
- 資源量が回復



- AIの導入
- 国際協力展開

■ 漁獲量 — 資源量

Smart Access Vehicle @ FUN



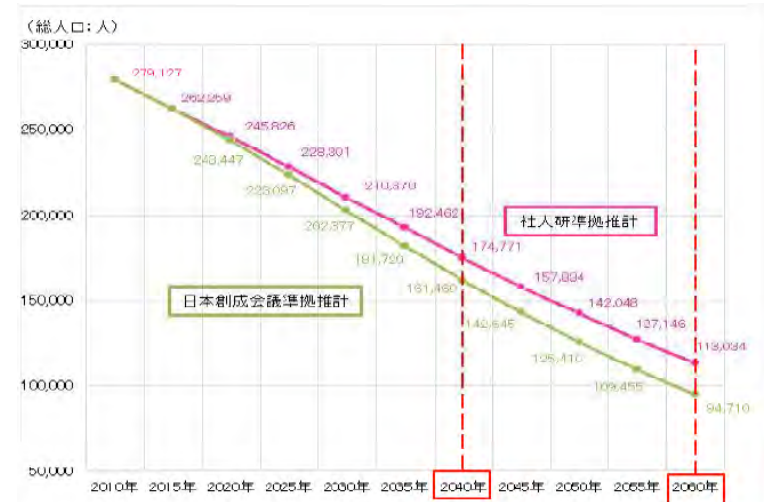
- 地域の公共交通の改革 (バス+タクシー: 利便性+経済性)
- ICTによる実時間最適化
- 地域住民に足を提供
- ベンチャー設立

• 函館圏の現状

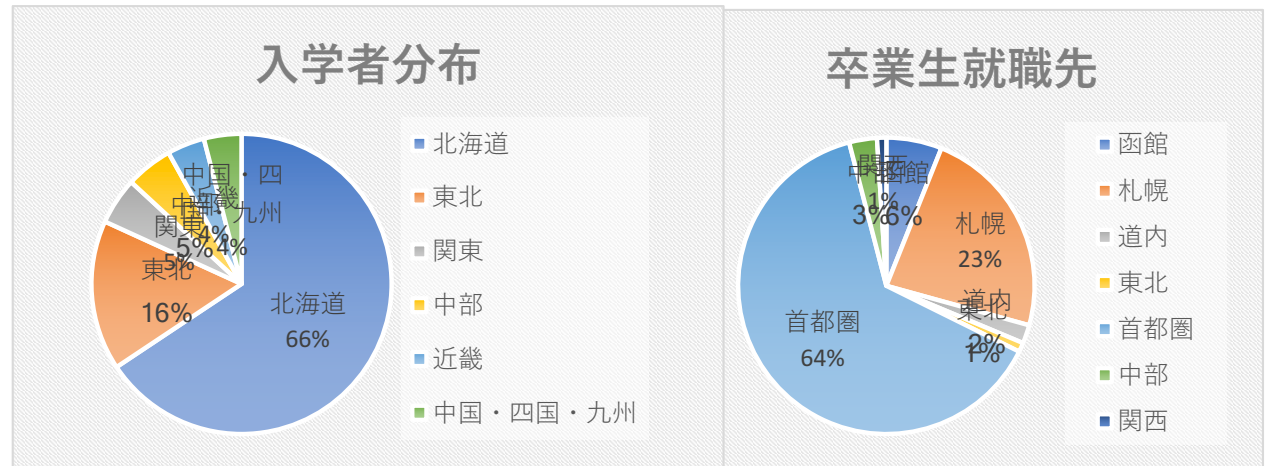
- 少子高齢化
- 少ない卒業生就職先
- 地方都市としての魅力
- 地域と大学の距離が近い

• 未来大学への期待

- ICTで町おこし
- 情報産業の誘致
- 起業



函館は消滅可能性都市に指定
(日本創成会議)



FUNの遺伝子＝卒業生の活躍

- 情報処理推進機構(IPA)未踏事業
 - 15プロジェクト, 26名の採択者
 - → 大学教員, 起業
- 20～30名の卒業生起業



未来へ向けて

- **大学と地域の強みを活かす**
 - 情報に特化した小規模大学
 - 地域発想の教育・研究
 - コミュニティ文化の醸成
 - 教員同士，教員と学生の距離が近い
 - 地域と大学の距離が近い(活動支援に積極的な市民が多い)
 - → 自然なcollaboration
- **情報による社会デザイン**
 - 函館で情報系企業との共同
 - Social Commons時代を視野に入れたSustainableな起業支援
- **臨機応変に仕組み作り・制度整備**
 - 未来AI研究センター(2017.4)(FAIR: Future AI Research Center)
- **専門職員の確保・育成**
 - 少ない間接経費資金 — 増える教員負担のバランス